

信金中央金庫のご案内



信用金庫は、平成18年3月末現在、全国に292金庫、7,776店舗のネットワークがあり、預金量は109兆円に達しています。

さらに、信用金庫業界には「信金中央金庫」という中央金融機関があります。信金中央金庫は、総資産28兆円（平成18年4月末）を有するわが国有数の金融機関で、経営内容も優れており、格付機関JCR（日本格付研究所）から、現時点における邦銀中、最高の格付けを受けています。

信金中央金庫は、信用金庫のセントラルバンクとして、信用金庫の業務補完を行なうとともに、信用金庫業界の信用力の維持・向上のため万全の体制を構築しています。

このように、信用金庫業界は信用金庫と信金中央金庫が一体となった経営が行なわれていますので、わが国でも極めて信頼性の高い業界となっています。

地域経済のパートナー

信用金庫

- 豊富な資金量 …………… 109兆円
- 巨大なネットワーク
……………全国292金庫、7,776店舗
- Face to Faceの事業展開
……………役員員数11万3千人
- 多数の出資者 ……………919万先

信用金庫のセントラルバンク

信金中金

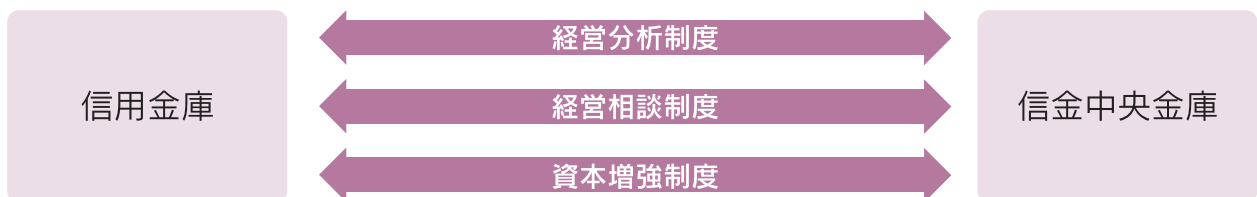
- 巨額な運用資産 …………… 28兆円
- 高い自己資本比率 …………… 14.34%
- 低い不良債権比率 …………… 0.36%
- 邦銀トップクラスの格付
……………A A A（格付機関JCR）
- 高配当の優先出資
……………予想配当利回り2.42%
(東京証券取引所に上場)

※上記計数は平成18年3月末現在のものです。ただし、運用資産は平成18年4月末現在、予想配当利回りは、平成18年5月31日現在の価格、予想配当により算出したものです。

信用金庫経営力強化制度

経営強化制度は、個別信用金庫の健全性を確保し、もって業界全体の信用力の維持・向上を図るため、平成13年4月に信用金庫、全国信用金庫協会および信金中央金庫による信用金庫業界の総意に基づき創設された制度です。

当制度は、①経営分析制度、②経営相談制度、③資本増強制度により構成されており、信金中央金庫はこれら制度の適正かつ円滑な運営を通じて、信用金庫業界の信用力をより一層向上させるため、積極的な役割を發揮しています。



- 経営分析制度：信用金庫の経営状況について、詳細に分析する制度
- 経営相談制度：信用金庫の経営全般または個別課題について、経営相談を実施する制度
- 資本増強制度：資本増強を必要とする信用金庫に対して、劣後ローン等を供与する制度